

成田山公園



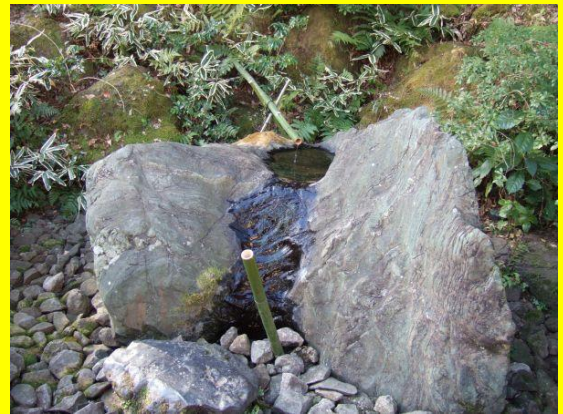
平和大塔



成田山公園へ（東翼殿右側より）



書道美術館



水琴窟（すいきんくつ）



原拓「紀泰山銘之碑」



公園内の数か所にある地図



梅祭り（3月）

演奏会



紅葉祭り（11月）

梅祭りの時は、ここで甘酒の無料接待があります。

三つの池



文殊の池
(文殊菩薩)



龍樹の池 (鯉や亀がいます)
(真言一祖・龍樹菩薩)



龍知の池 (浮御堂)
(真言二祖・龍智菩薩)



雄 滝 (飛雄の滝)



雌 滝



洗心堂

滝の水はポンプで上げている、夕方になると水は止まる。雌滝の水は一年中止まっている。



小泉 岩吉氏の銅像

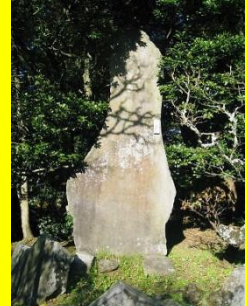


銅像横の碑 小泉純一郎元総理の名前も見える



小泉 岩吉像 初代横須賀泉勝講々元 **泉勝講** 小泉元首相の祖父小泉 又次郎氏の弟
この銅像も供出された為、小泉純也氏 (小泉元総理の父) により再建された。

小泉 又次郎 元内閣総理大臣小泉純一郎氏の祖父。
横須賀市長 逓信大臣 衆議院副議長などを歴任
全身刺青をしていた為、刺青大臣とか刺青の又さんと呼ばれていた。



探してみよう歴代貫首の句碑

成田山公園の句碑



鈴木三重吉の碑



中興十四世貫首 三池照鳳大僧正の銅像
昭和十三年 中興十八世貫首 荒木照定建立

すずきみ えきち

鈴木三重吉 (1882-1936) は、漱石門下の逸材 小説家・児童文学者

古巣はさびても小鳥はかよふ昔忘れぬ屋根の下

明治41年(1908)10月から明治44年(1911)4月まで、
成田中学校(現成田高校)の教頭兼英語教師として奉職(二年半)
成田中学校英語教師として教鞭を執るかたわら、代表作「小鳥の巣」を書き、
小説家・児童文学者としての地歩を固めた。

当時の校長(照勤)の理解ある計らいで、約5ヶ月間休職という形で執筆された。

松尾芭蕉句碑

「丈六に陽炎高し石の上」

(松尾芭蕉三重県伊賀市出身)



公園の藤棚



松尾芭蕉の句碑



新大仏寺境内の芭蕉塚
(芭蕉の出身地三重県伊賀市)

この句碑は芭蕉追福のために天明8年(1788年)に建立された。

句は貞享5年(1688年)旅の途中の新大仏寺で詠まれたもの。

1丈6尺(約4,85メートル) 一丈(3,03m) 一尺(30,3cm) 一丈=十尺=百寸

句意: 昔、この石の台座に立たせ給うた丈六の尊像は跡形もない。ただ空しい台座の上に丈六仏の背丈ほども高く燃え立つ陽炎が、いまはなき尊像の面影を幻のように偲ばせるばかりである。

成田山公園散策の順序は、時間がある方は平和の大塔前石段から降りて西洋庭園の噴水を通り書道美術館により三つの池、雄滝、雌滝、を通り上の方になると高浜虚子の句碑の所に出る。そして三重塔の方に出ると公園だけで約45分から一時間のコースです。

日本初の俳優の銅像 1910年（明治43年）

七代目市川團十郎と六代目市川團蔵の銅像を七代目團蔵(1836-1911年)が奉納した。
金属類回収令（1941~1945）（昭和16~20年）により供出された為（大東亜戦争）
額堂の七代目の石像の鼻が欠けていた、これを嘆いて銅像を奉納する。



左 七代目團十郎 右 六代目團蔵
1910年（明治43年）

七代目團蔵追善碑
1943年（昭和18年）

七代目團蔵（1836-1911年）が銅像を奉納
1943年（昭和18年）

八代目團蔵（1882-1966年）が句碑を建立

銅像が供出されて為、八代目團蔵が銅像のあった台座に七代目團蔵追善の句碑を建立
「凄かりし 月の團蔵 七代目」 高浜虚子の句

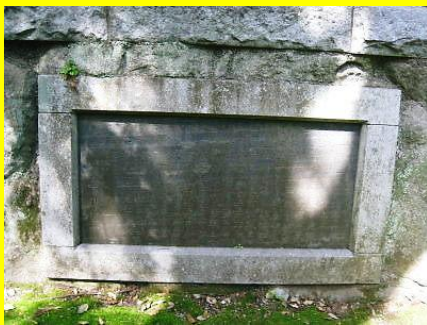
1932年（昭和7年）

銅像の横に八代目團蔵が七代目團蔵追善の句碑を建立

「名優七世市川團蔵の碑」「坪内遊人題」 坪内逍遙の揮毫（きごう）

銅像の横に建立した東日本大震災で倒れて折れたが、修理済の痕が見える。

説明文を建立 1932年四代目市川九蔵（八代目團蔵）が奉納



私がカメラで撮影して文字を起こしたので
間違えがあるかも知れません。
しかし大筋意味は理解できると思います。

写真は台座の下の部分にある説明文

團十郎團蔵ノ銅像八本
邦俳優銅像ノ嚆矢ニシ
テ先考七世團蔵ノ建設
ニ係ル×抑々先考八天
保七年江戸一至レ幼少
七世團十郎ノ門ニ加リ
後團蔵ヲ襲名シ明治四
十四年九月七十六歳ニ
シテ没ス其生涯ニ於ケ
ル名聲八師父ノ賜ナリ
ト信ジ成田山ノ靈域ニ
之ヲ永遠記念セシトシ
其宿志ヲ果シ得タルハ
實ニ没主ノ春ナリキ爾
来十数年風霜一因リ當
初ノ趣ニ損シタレバ昭
和二年修理ヲ為シ茲ニ
亦先考ノ碑ヲ建立シ以
テ其冥福ヲ祈ル
昭和七年九月
四世市川九蔵

【赤松庵】

成田山書道美術館に隣接した成田山九円の景勝地に「茶室・赤松庵」はあります。昭和 63 年（1988 年）に千葉市にあった建物の移築工事に着手し、翌平成元年（1989 年）3 月に完了しました。

毎月 28 日の成田山御縁日には茶会が催されています。赤松庵と書道美術館の間には「茶筌塚」と記された平成 6 年建立の石碑があり、毎年 4 月 28 日には表千家同門会千葉県支部の皆様ご参集のもと「茶筌塚供養法会」が行われます。ここで、日頃お茶席などで愛用された茶筌に感謝の気持ちを込めて、点火された茶筌塚の炉に茶筌が入れられます。毎年 11 月に催される

「成田山公園紅葉まつり」において成田市茶道会社中の皆様による無料お茶会が催されています。

【梅 林】

成田山公園の中には大きく 2 つの梅林があります。

1 つ目は毎年 2 月～3 月の祝・日曜日（計 6 回）に行われる「成田の梅まつり」の野点会場となっている梅園で、西洋庭園から成田山書道美術館へと抜ける道の途中にあります。

ここには約 460 本の紅白梅が植えてあり、梅の季節には芳しい香りを漂わせています。

2 つ目は成田山公園入口（大本堂に向かって右手）から入ったところにあります。

ここは明治 10 年（1935 年）に第十三世照輪上人によって創設されたものです。梅樹はいずれも老木ですが、成田山公園の中ではいち早く春の訪れを知らせてくれます。

また藤棚や松尾芭蕉の句碑なども近くにあります

【藤棚】



成田山は季節毎に様々な花で彩られます。5 月上旬に成田山公園で見頃を迎える藤の花、とりわけ藤棚は毎年 5 月連休に訪れるご参詣者を魅了します。成田山の藤棚は一般的な藤棚に比べて少し大きめであることが特徴です。散策時のおすすめスポットは、「大本堂右側の入口から成田山公園へ入って左側」「成田山公園内にある 3 つの池のうち『竜智』の池のほとり」です。5 月上旬の連休あたりで見頃を迎え、5 月終わり頃までお楽しみ頂けますのでご参詣時に是非お立ち寄りください。「弁財天堂横にもあり」 計 3 ケ所程あり

【桜】



桜は、約 350 本植えられています。春には美しい桜の花で満開となり訪れる参拝客や散策を楽しむ人々から美しい歓声が上がります。成田山公園は古くから成田山新勝寺の門前町として発展した成田市の北部にあたります。

公園は昭和 3 年(1928 年)に完成しました。新勝寺大本堂の裏の丘陵地を利用した面積 165,000 平米(50000 坪)の大公園です。四季折々の花が公園の池などにその美しい姿を映し出します。 東京ドームの 3.5 個分

東京ドームの建築面 46,755m²

【梅】



梅は、約 460 本公園内のあちらこちらに植えられ春には美しい花と香りを漂わせます。成田山公園は古くから成田山新勝寺の門前町として発展した成田市の北部にあたります。公園は昭和 3 年(1928 年)に完成しました。新勝寺大本堂の裏の丘陵地を利用した面積 165,000 m²の大公園です。四季折々の花が公園の池などにその美しい姿を映し出します。